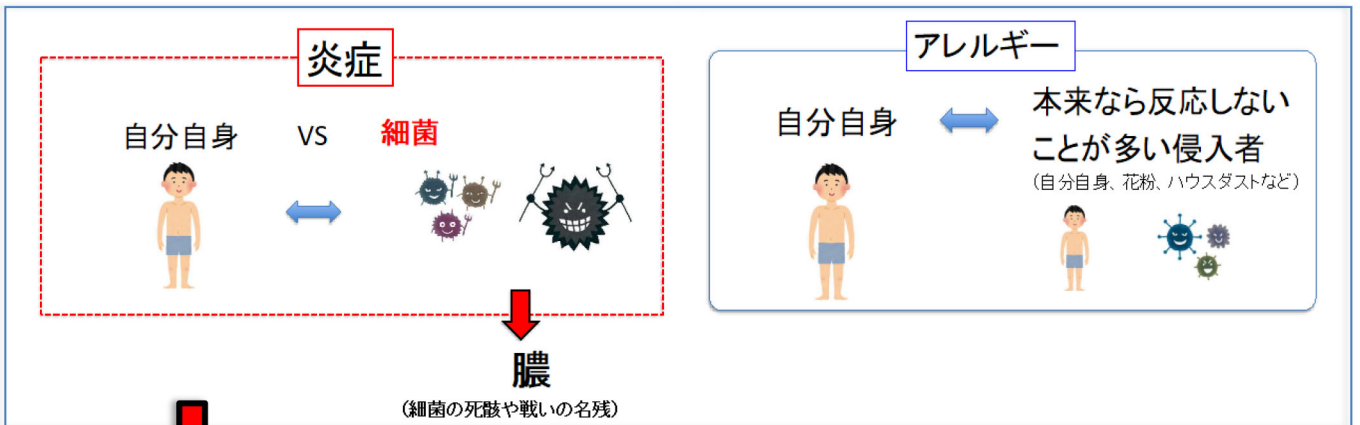


炎症とアレルギーの関係

1. 免疫応答とはどうなること？



2. 炎症もアレルギーも免疫応答の1つ



『炎症』も『アレルギー』も免疫応答の1つであり、免疫が働く対象が細菌かそれ以外の何かという違いがあります

3. 炎症がアレルギーを促進させる→消炎によるアレルギー抑制へ

体内に炎症が存在すると炎症の二次的影響として体中の免疫反応が活性化し、そこにアレルギー症状が存在するとアレルギー症状が促進することがあります。逆に、炎症を除去することができれば、免疫反応は鎮静し、結果としてアレルギー症状が少なくなることがあります。歯科での代表的な炎症は『歯周病』と『根の病気』です。アレルギー症状に悩む方は歯科の治療が改善のキッカケになるかもしれません。

詳しくは当院へご相談ください

